



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月15日
上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社
コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 玉牧 健二 TEL 06-6231-9917
定時株主総会開催予定日 2020年6月22日 配当支払開始予定日 2020年6月8日
有価証券報告書提出予定日 2020年6月22日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,523	1.4	1,194	△4.4	1,210	△2.9	859	0.9
2019年3月期	8,406	△2.1	1,249	△17.0	1,245	△17.2	851	△15.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	29.92	—	14.5	11.0	14.0
2019年3月期	29.05	—	13.7	11.3	14.9

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	10,997	6,081	55.3	211.69
2019年3月期	10,970	5,767	52.6	200.77

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,081百万円 2019年3月期 5,767百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,436	△160	△1,128	2,365
2019年3月期	880	△208	△822	2,217

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	580	68.8	9.4
2020年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00	574	66.8	9.7
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該期準日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、通常の医療体制が崩れ、必要な手術も遅れ気味となっております。当社の主力製品の使用数は、手術件数との関連性が高いものであることから、現時点において2021年3月期の業績予想を見通すことが困難であると判断し、未定とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	31,840,000株	2019年3月期	31,840,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,111,559株	2019年3月期	3,111,559株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	28,728,441株	2019年3月期	29,313,669株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2020年6月3日に開催を予定しておりました決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況を受け、中止することいたしました。決算補足説明資料につきましては、2020年5月15日に当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
役員の異動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により足下で厳しい状況にあり、今後の国内外の景気についても先行き不透明な状況となっております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進行による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

しかしながら、増加の一途をたどる医療費の抑制を目的とした医療制度改革は進められ、各医療機関の経営環境はより一層厳しさが増してきており、医療現場においてより効率的で効果的な医療サービスを提供できるような製品供給体制が望まれております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、医療現場と密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当事業年度の経営成績の分析は下記のとおりであります。

① 売上高

売上高は、8,523百万円（前期比1.4%増）となりました。これは主として、主力製品の販売単価の下落圧力は強いものの、販売数量の伸びにより、売上に復調の兆しが見られたこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は、1,194百万円（前期比4.4%減）となりました。これは主として、主力製品の販売単価の下落と電動ポンプ事業における一過性の収益性悪化に伴う損失計上により、売上総利益が減少したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は、1,210百万円（前期比2.9%減）となりました。これは主として、営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 当期純利益

当期純利益は、859百万円（前期比0.9%増）となりました。これは主として、経常利益が減少したものの、本社移転関連費用等の特別損失が減少したこと等によるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前事業年度末に比べて58百万円増加し、6,404百万円となりました。これは主として、受取手形が761百万円、製品が222百万円それぞれ減少したものの、電子記録債権が821百万円、現金及び預金が147百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて31百万円減少し、4,593百万円となりました。これは主として、有形固定資産が25百万円増加したものの、差入保証金が44百万円、繰延税金資産が9百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は、前事業年度末に比べて77百万円増加し、3,782百万円となりました。これは主として、短期借入金が300百万円、資産除去債務が43百万円それぞれ減少したものの、買掛金が101百万円、1年内返済予定の長期借入金が94百万円、未払消費税等が77百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて364百万円減少し、1,133百万円となりました。これは主として、長期借入金が368百万円減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は、前事業年度末に比べて313百万円増加し、6,081百万円となりました。これは主として、利益剰余金が剰余金の配当により545百万円減少したものの、当期純利益を859百万円計上したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前事業年度末に比べて147百万円増加し、2,365百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は1,436百万円（前期比555百万円増）となりました。これは主として、法人税等を288百万円支払い、売上債権が132百万円増加したものの、税引前当期純利益を1,191百万円、減価償却費を253百万円それぞれ計上したこと、たな卸資産が326百万円減少したこと等によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は160百万円（前期比48百万円減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得により、162百万円支出したこと等によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は1,128百万円（前期比305百万円増）となりました。これは主として、長期借入れによる収入を600百万円計上したものの、配当金を546百万円支払い、長期借入金を873百万円、短期借入金を300百万円それぞれ返済したこと等によるものです。

(4) 今後の見通し

日本を含む世界各国における新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、世界規模での企業活動の制約、活動自粛、供給網の寸断などから経済が急減速しており、わが国の景気も緩やかな回復基調から一転して不安定な状況となっております。

当社の事業環境においても新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、通常の医療体制が崩れ、手術件数の減少が見込まれ、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力製品の吸引器や注入器は手術に関連して使用されるものが多く、手術件数との関連性が高いものであることから、現時点においては、2021年3月期の業績予想につきまして、合理的に算定することが困難と判断し、未定としております。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要経営課題のひとつと位置づけ、将来にわたる事業展開のための内部留保の確保と経営成績に裏づけされた成果の配分を中間配当及び期末配当として年2回行うことを基本方針としております。また、配当性向につきましては、安定配当をベースに60%以上の利益還元を基本方針としております。

内部留保資金の用途につきましては、今後の有望な事業分野に投下し、さらに高い利益性と成長性を実現することで企業価値の増大を図り、投資価値の拡大とさらなる利益還元につなげてまいりたいと考えております。

なお、当社は、株主の皆様への機動的な利益還元を可能とするため、法令に別段の定めのある場合を除き、取締役会の決議によって会社法第459条第1項各号に定める剰余金の配当をすることができる旨定款に定めております。

当期の期末配当金につきましては、2020年5月15日開催の取締役会決議により、1株当たり11円を実施させていただきました。すでに2019年12月2日に実施済みの中間配当金1株当たり9円とあわせまして、年間配当金は1株当たり20円となります。

なお、次期（2021年3月期）の配当については、現時点では未定とさせていただきますが、合理的な業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,217,605	2,365,400
受取手形	1,168,236	406,861
電子記録債権	—	821,808
売掛金	1,425,902	1,497,712
製品	992,486	770,451
仕掛品	101,724	67,009
原材料	405,653	335,991
前払費用	19,536	18,237
その他	14,987	121,038
貸倒引当金	△86	△92
流動資産合計	6,346,047	6,404,420
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,168,485	2,104,782
構築物(純額)	2,467	2,105
機械及び装置(純額)	95,454	79,598
車両運搬具(純額)	293	163
工具、器具及び備品(純額)	178,299	121,426
土地	1,703,670	1,703,670
リース資産(純額)	24,987	30,983
建設仮勘定	101,974	258,197
有形固定資産合計	4,275,633	4,300,929
無形固定資産		
ソフトウェア	27,102	22,510
ソフトウェア仮勘定	—	1,700
電話加入権	5,103	5,103
無形固定資産合計	32,205	29,313
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	4,751	4,325
繰延税金資産	204,341	194,818
差入保証金	97,583	53,532
会員権	17,500	13,100
生命保険積立金	8,797	8,797
長期未収入金	13,150	13,150
貸倒引当金	△29,050	△24,650
投資その他の資産合計	317,083	263,083
固定資産合計	4,624,922	4,593,325
資産合計	10,970,969	10,997,746

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	526,359	554,793
買掛金	310,450	411,674
短期借入金	1,100,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	803,998	898,032
未払金	213,640	234,311
リース債務	6,346	8,992
未払費用	446,381	445,687
未払法人税等	146,665	180,854
未払消費税等	13,243	90,789
預り金	13,642	12,337
設備関係支払手形	59,092	95,405
資産除去債務	43,064	—
その他	22,684	49,796
流動負債合計	3,705,570	3,782,673
固定負債		
長期借入金	1,459,924	1,091,892
リース債務	20,733	24,713
長期預り保証金	14,046	14,066
その他	2,789	2,789
固定負債合計	1,497,493	1,133,460
負債合計	5,203,063	4,916,133
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金		
資本準備金	400,875	400,875
資本剰余金合計	400,875	400,875
利益剰余金		
利益準備金	23,750	23,750
その他利益剰余金		
別途積立金	690,000	690,000
繰越利益剰余金	5,983,988	6,297,694
利益剰余金合計	6,697,738	7,011,444
自己株式	△1,826,582	△1,826,582
株主資本合計	5,767,905	6,081,612
新株予約権	—	—
純資産合計	5,767,905	6,081,612
負債純資産合計	10,970,969	10,997,746

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,406,607	8,523,354
売上原価		
製品期首たな卸高	742,539	992,486
当期製品製造原価	4,777,650	4,682,462
当期商品仕入高	47,897	57,083
外注取付工事費	7,087	7,090
合計	5,575,175	5,739,123
他勘定振替高	113,993	179,000
製品期末たな卸高	992,486	770,451
売上原価合計	4,468,694	4,789,671
売上総利益	3,937,913	3,733,682
販売費及び一般管理費	2,688,324	2,539,277
営業利益	1,249,588	1,194,405
営業外収益		
受取利息	21	0
受取補償金	2,818	1,507
助成金収入	400	16,459
その他	2,758	2,369
営業外収益合計	5,998	20,336
営業外費用		
支払利息	4,764	4,551
支払手数料	4,822	—
その他	4	82
営業外費用合計	9,591	4,633
経常利益	1,245,995	1,210,107
特別利益		
新株予約権戻入益	5,160	—
特別利益合計	5,160	—
特別損失		
固定資産除却損	41,325	18,997
本社移転関連費用	56,157	—
特別損失合計	97,482	18,997
税引前当期純利益	1,153,672	1,191,110
法人税、住民税及び事業税	315,301	322,040
法人税等調整額	△13,228	9,523
法人税等合計	302,072	331,563
当期純利益	851,600	859,547

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※1	3,814,014	79.2	3,691,249	78.6
II 労務費		471,583	9.8	523,223	11.1
III 経費		532,724	11.0	480,651	10.3
当期総製造費用		4,818,323	100.0	4,695,124	100.0
期首仕掛品たな卸高		77,225		101,724	
合計		4,895,548		4,796,849	
期末仕掛品たな卸高		101,724		67,009	
他勘定振替高	※2	16,173		47,377	
当期製品製造原価		4,777,650		4,682,462	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
減価償却費	216,478	190,324
荷造運賃費	122,321	107,071
工場消耗品費	33,179	33,468
修繕費	21,977	24,410

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
販売費及び一般管理費	4,312	2,158
その他	11,860	45,218
計	16,173	47,377

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、総合原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
					別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	5,905,903	6,619,653
当期変動額							
剰余金の配当						△773,515	△773,515
当期純利益						851,600	851,600
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	78,084	78,084
当期末残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	5,983,988	6,697,738

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計		
当期首残高	△826,588	6,689,814	5,160	6,694,974
当期変動額				
剰余金の配当		△773,515		△773,515
当期純利益		851,600		851,600
自己株式の取得	△999,993	△999,993		△999,993
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			△5,160	△5,160
当期変動額合計	△999,993	△921,908	△5,160	△927,068
当期末残高	△1,826,582	5,767,905	—	5,767,905

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	5,983,988	6,697,738
当期変動額							
剰余金の配当						△545,840	△545,840
当期純利益						859,547	859,547
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	313,706	313,706
当期末残高	495,875	400,875	400,875	23,750	690,000	6,297,694	7,011,444

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合 計		
当期首残高	△1,826,582	5,767,905	—	5,767,905
当期変動額				
剰余金の配当		△545,840		△545,840
当期純利益		859,547		859,547
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)				
当期変動額合計	—	313,706	—	313,706
当期末残高	△1,826,582	6,081,612	—	6,081,612

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,153,672	1,191,110
減価償却費	302,875	253,178
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△97	6
受取利息及び受取配当金	△21	0
支払利息	4,764	4,551
売上債権の増減額(△は増加)	155,687	△132,243
たな卸資産の増減額(△は増加)	△269,703	326,411
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,691	129,657
本社移転関連費用	56,157	—
固定資産除却損	41,325	18,997
新株予約権戻入益	△5,160	—
助成金収入	△400	△16,459
未収入金の増減額(△は増加)	15,134	△51,102
未払金の増減額(△は減少)	△65,291	△62,039
未払費用の増減額(△は減少)	△6,262	△692
未払又は未収消費税等の増減額	△53,372	78,733
その他	△22,667	△54,075
小計	1,213,948	1,686,034
利息及び配当金の受取額	24	0
利息の支払額	△4,825	△4,558
法人税等の支払額	△345,806	△288,316
助成金の受取額	17,583	43,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,925	1,436,905
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△198,597	△162,262
無形固定資産の取得による支出	△8,563	△6,900
差入保証金の回収による収入	7,836	44,467
資産除去債務の履行による支出	—	△35,800
その他	△9,467	△269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,792	△160,764
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△645,668	△873,998
自己株式の取得による支出	△999,993	—
配当金の支払額	△773,338	△546,127
短期借入金の純増減額(△は減少)	600,000	△300,000
リース債務の返済による支出	△3,739	△8,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822,739	△1,128,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△150,606	147,795
現金及び現金同等物の期首残高	2,368,211	2,217,605
現金及び現金同等物の期末残高	2,217,605	2,365,400

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	吸引器 関連	注入器 関連	電動ポンプ 関連	手洗い設備 関連	その他	合計
外部顧客への 売上高	5,489,378	1,985,490	110,514	511,694	309,530	8,406,607

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	吸引器 関連	注入器 関連	電動ポンプ 関連	手洗い設備 関連	その他	合計
外部顧客への 売上高	5,434,409	1,985,714	153,541	618,622	331,066	8,523,354

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	200.77円	211.69円
1株当たり当期純利益金額	29.05円	29.92円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	851,600	859,547
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	851,600	859,547
普通株式の期中平均株式数(株)	29,313,669	28,728,441

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,767,905	6,081,612
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,767,905	6,081,612
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	28,728,441	28,728,441

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

新任予定監査役

常勤監査役 戸井田 聡史

監査役 村上 創

監査役 大西 由紀

退任予定監査役

常勤監査役 上原 康司

監査役 岩城 本臣

監査役 北山 涼一

(3) 就任及び退任予定日

2020年6月22日